唐泉山を仰ぎみて

嬉野市立塩田中学校
「学校だより No3」
令和８年５月２９日
文責：校長　宮崎武司

学校教育目標「心豊かに ともに 伸びる」

～ 仲間とともに伸びる 教師とともに伸びる 保護者・地域とともに伸びる ～

【校外行事】

５月 22 日（金）は、１年生は蟻尾山公園への遠足、２年生が吉野ヶ里歴史公園へのバス旅行を実施しました。遠足・バス旅行では、移動中の会話やレクリエーション活動を通して親睦を深め、学級の団結力を高めるとともに交友関係を広げることも大切な目的の一つです。日常の学校生活はもちろんのこと、このような学校行事においても仲間との距離を縮め、多くの人と関わり合える関係を築いてほしいと願っています。交友関係が広がることは、生徒一人一人の成長にもつながります。

〔1 年生：蟻眉山公園〕

〔2 年生：吉野ケ里歴史公園〕

【修学旅行】

３年生の修学旅行では、目標を意識した行動が様々な場面で見られました。旅行会社の添乗員の方からも称賛の声をいただき、時間を厳守し早目に行動する姿勢は大変立派でした。また、知覧特攻平和会館での講話では、講師の大隣さんのお話に真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。修学旅行後の振り返りでは、多くの生徒が自らの課題をしっかりと見つめ、具体的に記述しており、今後の学校生活において改善へとつなげていくことが期待されます。

〔知覧特攻平和会館 平和講話〕

〔鹿児島市内 自主研修〕

〔鹿児島市内 自主研修〕

３年生の修学旅行での感想を紹介します。

この３日間で学んだことは、まず仲間の大切さです。特に実行委員の皆さんには本当に感謝をしています。自分のことで精一杯なのに、その中でも学年全体を見ながら常に行動している姿に「ありがとう」と素直に思いました。そして改善点としては、場にあった言動をすることです。周りの人やお客さんに迷惑をかけたところがありました。常に周りのことを考えて行動することができなかったので、これからの学校生活に活かしていきます。

スローガン「和衷協同」のもと、仲間と協力して充実した時間を過ごせました。旅先での出会いや級友との関わりを通じて、人の温かさを深く実感したことが一番の学びです。これまであまり話したことがなかった友達とも積極的に話し、絆を深めることができました。また、しおりを見て時間を意識し、先を見据えて早め早めに行動できたことも自分の自信になりました。一方で、挨拶の声が課題だと感じたので、もっと大きな声で、相手に届く声で、元気よく挨拶をしたいと思いました。

全体的に時間をこまめに見て〇〇分前には動くという意識ができていた。できていない人もいたかもしれないが、できている人が今後カバーしていけば、全体で意識できると思う。特に大事な課題と感じたことは、周りを思いやる行動が足りなかった部分。２日目の体験活動では、一般の方・スタッフさんに迷惑をかけていた。自分の楽しさを優先させていたので、ルール・マナーの中で楽しみたい。そのためには常日頃から自分の行動を客観的に見て、周りへの影響を考えながら動く必要がある。まずは自分から意識していけばすぐに周りをより良い方向へ巻き込めると思うので、修学旅行で感じたことを無駄にしない。